



TOTO

プッシュボタン小便器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)



施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	水場使用禁止 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「風呂、シャワー室での使用禁止」を示します。		必ず実行 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	---	---	--

警告	
	浴室などの湿気の多い場所に設置しない 故障、漏電の原因になります。
	修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 故障、感電、けがのおそれがあります。

警告



必ず実行

万一の際の危険防止のため、必ず過電流遮断器、漏電遮断器を設置する

火災、感電、漏電の原因になります。

電流には交流100Vを使用する

交流200Vや直流電源を使用しますと火災や故障の原因になります。
[寒冷地仕様のみ]

注意



必ず実行

電源コードを差し込むときは、根元まで十分に差し込んでいることを確認する
火災の原因になります。

必ず2人以上で施工を行う

腰を痛めたり、陶器を落として破損する可能性があります。




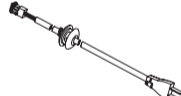
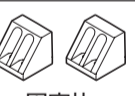






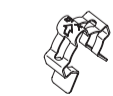




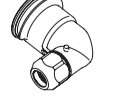



施工後、必ず試運転し、各部に水漏れのないことを確認する

取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

小便器ふたの取り付けや取り外しは、細心の注意を払って行う
陶器を落として破損する可能性があります。

同梱部品

■部品があるか、下記を参照して確認してください。

上ふた	目皿	ふさぎふた ※寒冷地仕様のみ	ヒーター用プラグ ※寒冷地仕様のみ
 (1個)	 (1個)	 (1個)	 (1個)
固定片		バックハンガー	
 固定片 (2個)	 木ねじ(小便器用) (φ5.8×80 : 2本)	 バックハンガー (2個)	 木ねじ (φ5.8×63 : 6本)
 木ねじ(固定片用) (φ5.8×50 : 4本)	 ゴムスリーブ (小便器用)(2枚)	 ワッシャー (2枚)	
UFJ300CVR(CVZ)のみ UFJ300CVFR(CVFZ)		US800C V6のみ US800C V7のみ	
給水金具		その他	
 クイックファスナー (1個)	 連結管 (1個)	 結束バンド (1個)	 取扱説明書 (1部)
 止水栓 (1個)	 止水栓継手 (1個)	 六角棒レンチ (1個)	
		 開閉工具 (1個)	
		 施工説明書 (1部)	

●排水金具(排水ソケットまたは壁フランジ)は別梱包です。

仕様

品番	UFJ300CVR(CVZ) (一般地仕様)	UFJ300CVFR(CVFZ) (寒冷地仕様)	US800C V6 (一般地仕様)	US800C V7 (一般地仕様)
寸法	390×380×1020 (幅)(奥行き)(高さ)		390×420×1025 (幅)(奥行き)(高さ)	
給水接続	15A(接続ねじPJ1/2)			
排水接続	VP50、VU50、50鉛管			
給水圧力	最低必要水圧0.07MPa(11L/min、流動時)最高水圧0.75MPa(静止時)			
吐水量	4L(定流量弁を内蔵していますが、諸条件によって異なります)			
使用水	水道水または飲用可能な井戸水			再生水
寒冷地仕様	不可	水圧0.10MPa水温4℃ 以上のとき-10℃まで ヒーター消費電力14W	不可	

取り付け前のご注意

警告



水場使用禁止

浴室などの湿気の多い場所に設置しない
故障、漏電の原因になります。

- 給水圧力範囲は最低必要水圧0.07MPa、最高水圧0.75MPaです。この範囲内でご使用ください。
- 電源コード取付方向を間違わないように陶器を取り付ける前にあらかじめコンセントの位置を確認してください。(寒冷地仕様のみ)
- 給水は上水道に接続してください。再生水および異物を多く含む水には使用できません。(US800C V7のみ、再生水仕様)
- アース接続は不要です。(寒冷地仕様のみ)

完成図

UFJ300CVR(CVZ)
(単位：mm)

給水位置

固定片

塩ビ管VP50、VU50または、鉛管50

HP510Rをご使用の場合、排水管は床仕上げ面より5~10mmの高さで立ち上げてください。また、リモデルなどで既設の排水ソケットから交換する際は、排水管を立ち上げ直してください。

※汚垂石を設置した場合は汚垂石上面が床仕上げ面となります。

US800C V6・US800C V7
(単位：mm)

給水位置

50鉛管または塩ビ管

▽床仕上げ面

※汚垂石を設置した場合は汚垂石上面が床仕上げ面となります。

UFJ300CVFR(CVFZ)
(単位：mm)

給水位置

固定片

L=2400

塩ビ管VP50、VU50または、鉛管50

HP510Rをご使用の場合、排水管は床仕上げ面より5~10mmの高さで立ち上げてください。また、リモデルなどで既設の排水ソケットから交換する際は、排水管を立ち上げ直してください。

※汚垂石を設置した場合は汚垂石上面が床仕上げ面となります。

各部のなまえ

■UFJ300CVR(CVZ)
■UFJ300CVFR(CVFZ)

■US800C V6
■US800C V7

止水栓
クイックファスナー
止水栓継手

※汚垂石を設置した場合は汚垂石上面が床仕上げ面となります。

HP510Rをご使用の場合、排水管は床仕上げ面より5~10mmの高さで立ち上げてください。また、リモデルなどで既設の排水ソケットから交換する際は、排水管を立ち上げ直してください。

※汚垂石を設置した場合は汚垂石上面が床仕上げ面となります。

施工手順

※寒冷地仕様のみ

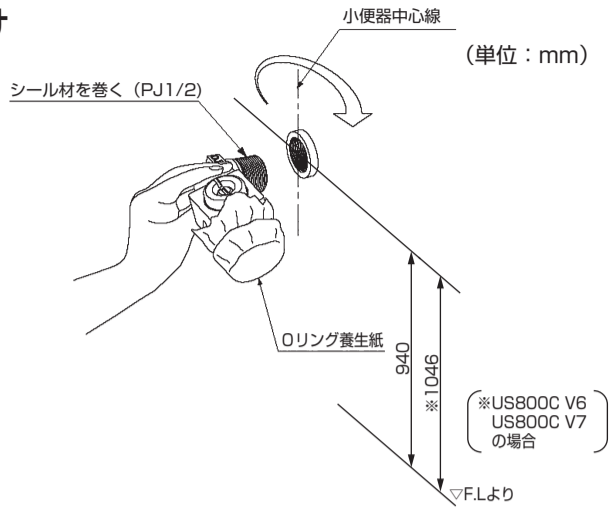
※排水金具の取り付けは排水金具と同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

取付方法

① 止水栓の取り付け

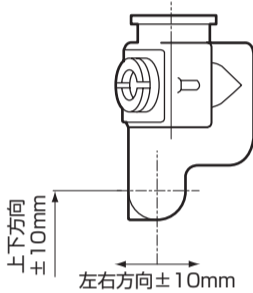
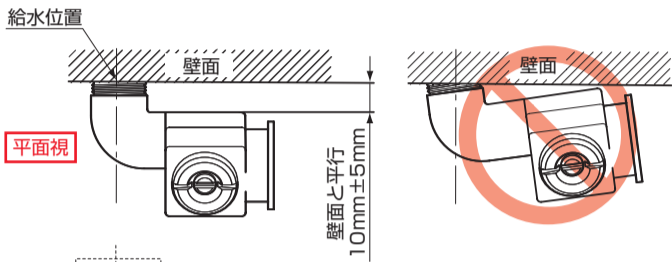
※取り付け前に必ず通水し、排水管内のごみを除去してください。

- 接続部にシール材を巻き矢印の方向へねじ込む。
- ※止水栓のOリング養生紙はバルブを接続するまで外さないでください。



※止水栓は小便器本体を取り付けるまでは立てた状態にしてください。(小便器本体が取り付けしやすくなります)
小便器本体取付後、止水栓をさらに90° 矢印の方向へねじ込み床面、壁面と平行になるようにしてください。

※止水栓と壁とのすき間が6mm以下の場合、クイックファスナーが十分に入らないことがあります。



正面視(止水栓取付状態)

正面視(小便器本体取付後)

※止水栓の取付位置の寸法許容差は上下方向、左右方向がそれぞれ±10mm、前後方向が±5mmです。寸法許容差を超えると取り付けられない場合があります。
※止水栓は「開」の状態ですので取り付け後、通水はまだ行わないでください。

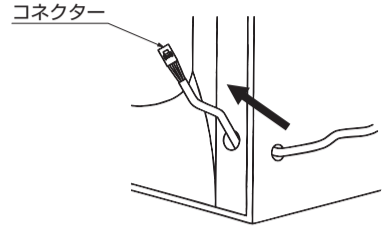
② ヒーター接続 (寒冷地仕様のみ)

※ヒーター接続前にヒーター用プラグはつながないでください。

※ヒーター用プラグは電源コンセントの位置によって陶器側面からの配線の取出方向が変わります。

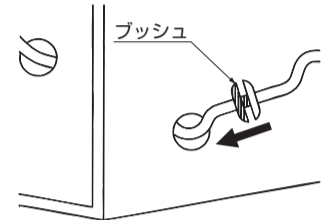
コード取出方向の反対側はふさぎふた(同梱)で必ずふさいでください。
(図は、陶器正面から見て電源コンセントが右側の場合です)

① 陶器側面の穴から陶器背面の穴へコネクターを通す。



② プッシュの網掛け部を陶器側面の穴にはめ込む。

※プッシュはしっかりとめ込んでください。

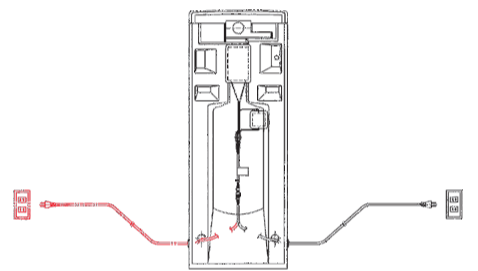


③ コネクターを差し込む。

※コネクターはカチッと音がするまで差し込んでください。



※右図は陶器正面から見て陶器の中心に対し左側に電源コンセントがある場合の例です。右側にある場合は、赤線のようにしてください。

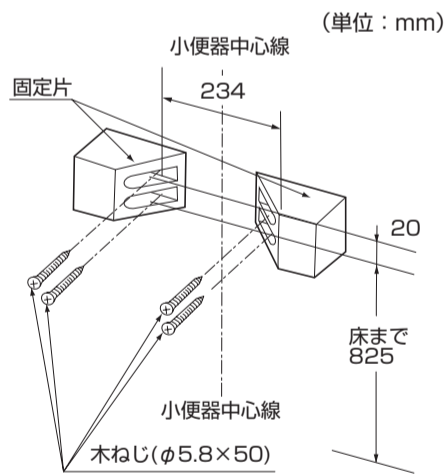


③ 小便器本体の取り付け<UFJ300CVR(CVZ)・UFJ300CVFR(CVFZ)>

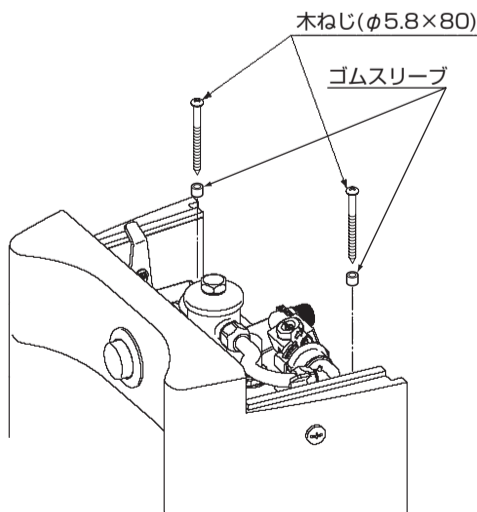
※小便器本体を取り付ける前に必ず排水金具を取り付けてください。
取り付けの際は排水金具と同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

また、リモデルなどで既設の排水ソケットから交換する際は、排水パイプを立ち上げ直してください。

- ① 図の位置に固定片を取り付ける。
- ② 小便器排水口周辺のごみや水分を取り除き、小便器を排水ソケットに差し込み、壁側へスライドさせる。



- ③ 小便器後面を壁面につけた状態で木ねじ、ゴムスリーブを取付穴から固定片にねじ込み、小便器を固定する。

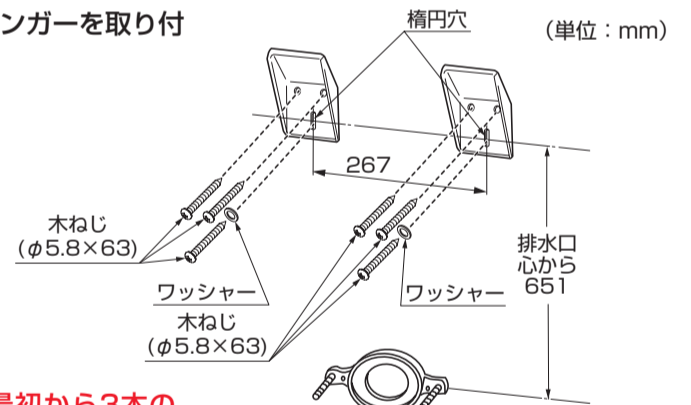


※木ねじを強く締め過ぎて、小便器本体を割らないようご注意ください。

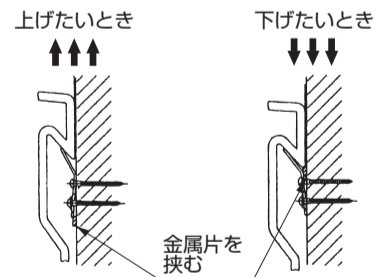
※小便器本体を止水栓に当てないようにご注意ください。

③ 小便器本体の取り付け<US800C V6・US800C V7>

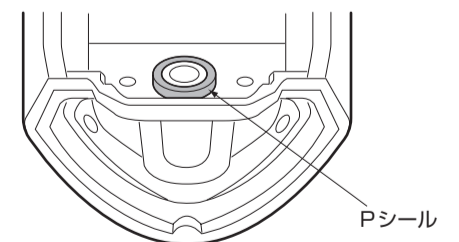
① 図の位置にバックハンガーを取り付ける。



※バックハンガーは最初から3本の木ねじで固定せず、楕円穴のみで仮止めします。Pシールを付けずに小便器を掛けて所定の位置になるよう調整し、本固定します。その際、小便器が所定の高さにつかない場合は、バックハンガーの木ねじをゆるめ、壁との間に金属片を挟んで調整します。



② 小便器排水口周辺のごみや水分を取り除き、Pシールを小便器排水口に取り付ける。



③ 小便器をバックハンガーに掛け、フランジのボルトで小便器下部を固定する。

※ナットを強く締め込み過ぎて、小便器本体を割らないようご注意ください。
※小便器本体を止水栓に当てないようにご注意ください。

4 止水栓とバルブの接続

注意

止水栓のOリングにごみの付着や傷つきがないよう注意する
Oリングにごみの付着や傷・はみ出しがあると水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

クイックファスナー接続後、スムーズに回転しない場合は接続作業をやり直す

クイックファスナーの接続が不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

クイックファスナーの中溝につばがしっかり入っているか確認し、前後に回転させて止水栓とバルブの接続状態を確認する
その後、クイックファスナーを180°回転させて端部を上に向けて結束バンドにて確実に固定する

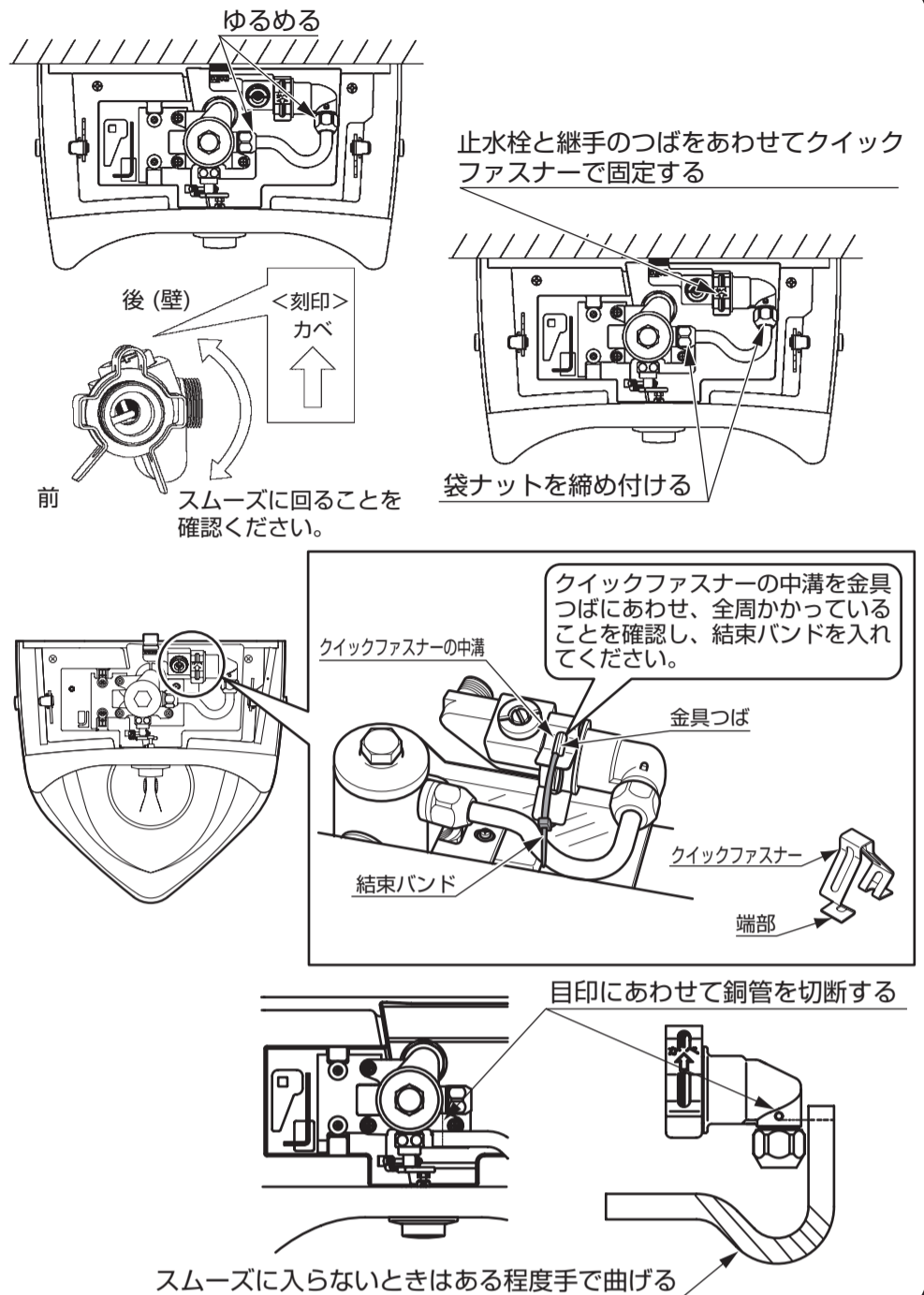
金具が外れ、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

袋ナットを手で強くねじ込んだあと、さらに1回転以上ねじ込む
袋ナットの締め付けが不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

- 1 止水栓のOリング養生紙を外す。
- 2 バルブ、継手に接続されている袋ナットをゆるめて銅管の差し込み度を調整する。
- 3 バルブ側継手に銅管を差し込むと同時にOリングを傷つけないように継手を止水栓に差し込む。
- 4 継手と止水栓のつばが合うまで差し込む。
- 5 抜けないようにバルブを手で支えて矢印が壁に向くようにクイックファスナーを上から差し込む。
- 6 クイックファスナーを前後に回転させ止水栓と継手の接続具合を確認する。
- 7 継手、バルブの袋ナットを締め付ける。

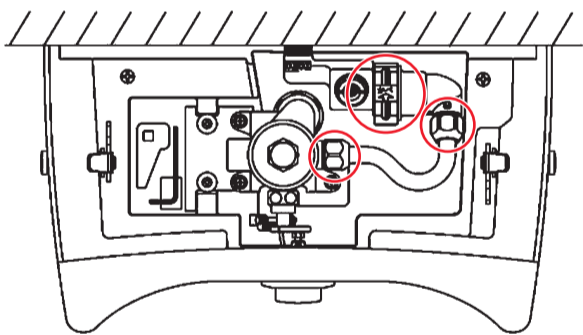
※継手と止水栓が接続できない場合は連結管を外して、右図の要領で連結管の長さを確認し、長過ぎる場合は目印にあわせて切断してください。また銅管がスムーズに入らないときは銅管のR部を手で曲げて調整してください。

※銅管を曲げるときに力強く曲げると曲がり過ぎてしまうことがありますので、ご注意ください。



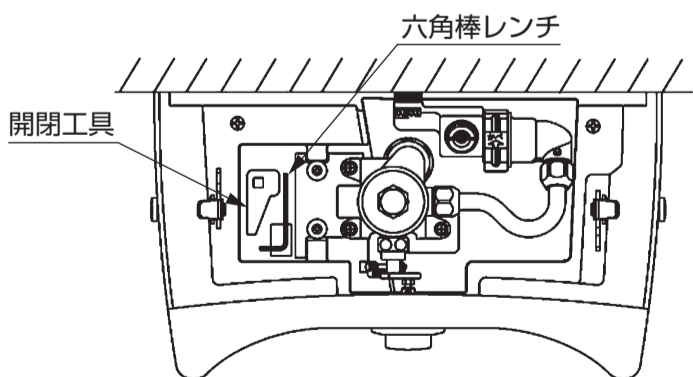
5 水漏れ・動作の確認

配管の接続に間違いがないことを確認後、配管に通水し、配管と止水栓の接続、および止水栓とバルブの接続において水漏れがないことを確認する。



※取り付け後、2~3回吐水させ吐水時間が安定しているかを確認してください。

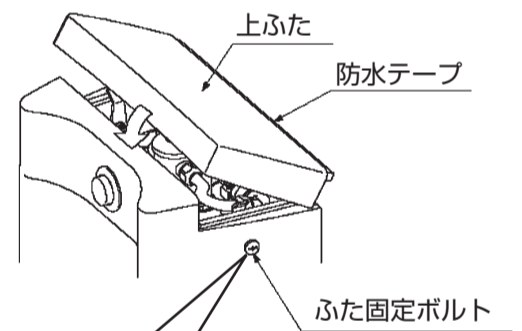
同梱部品の開閉工具、六角棒レンチ(寒冷地仕様のみ)は下図の要領でふたを閉める前に収める。



※六角棒レンチは流動用スピンドル部の開閉を行うためのものです。

6 上ふたの取り付け

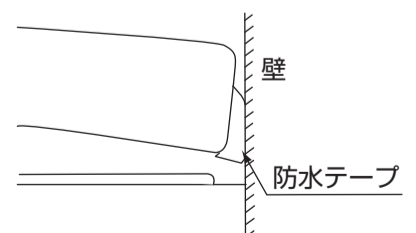
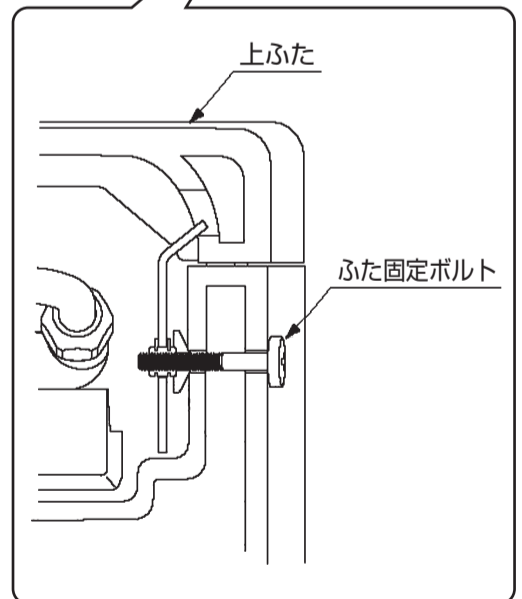
- 1 ふた固定ボルトをゆるめてふた固定金具のナットがボルトの先端にくるようにする。
- 2 上ふた後面に貼り付けてある防水テープを壁に押し付けながら上ふたを載せる。
- 3 ふた固定ボルトを締め、小便器本体と上ふたを固定する。



※ふた固定ボルトを強く締め過ぎて小便器本体を割らないようにご注意ください。

※上ふた固定後、ふた固定ボルトと小便器本体の間にすき間が生じた場合はいったんふた固定ボルトをゆるめ、すき間ができないよう両側均一に締め直してください。

※上ふたは必ず同一梱包品を取り付けてください。同一梱包品以外の上ふたと組み合わせますと、ガタツキを生じたり取り付けができない場合があります。



※組み合わせは小便器本体の収納側面と上ふた裏面に貼り付けた番号シールの数字でご確認ください。

※上ふた取り付け完了後、押しボタンに貼り付けてあるテープを取ってください。